

— 誇り・交流・夢 —



うきは

No. 44

平成28年 2月 1日

(平成27年12月議会号)

市議会だより

CONTENTS

つたえる (総合計画・補正予算など) …… 2～3

議論! (一般質問) …… 4～9

委員会報告 (各常任委員会) …… 10～11

うきはの宝・編集後記 …… 12



つたえる

新年明けましておめでとうございます。
 今回の「つたえる」は、昨年末の12月議会で議論となった、主な内容をお伝えします。
 今年は「暖冬」 一昨年の元旦は「雪景色」(写真)

上程された議案 (○ 執行部提案 ◇ 議会提案)

- 補正予算 一般会計及び特別会計(国保・自動車学校・下水道) 4件
- 飯塚市への戸籍事務委託 ◇ 工事請負契約(新治団地2棟)
- 久留米広域市町村圏規約の変更及び久留米市との連携協定締結など 3件
- 第2次うきは市総合計画 ◇ 指定管理(納骨堂・簡易給水施設) 2件
- 条例(制定1件・一部改正3件・廃止3件) ◇ 市有財産の無償譲渡(社協)
- ◇ 請願(TPP意見書)及び議員提出(安保・沖縄基地・労基法)意見書3件
- ◇ 議会基本条例の一部改正

12月3日に召集された定例会は、右記の議案が提出され、議員提出の意見書3件が否決されたほかは全議案が可決され、13日間の会期を終えました。
 以下、主なものについて、その概要をお伝えします。

主な条例(制定・改正・廃止)

◇ マイナンバー利用等に関する条例

新年1月1日から「マイナンバー制度」がスタートします。主に、次の場合に必要とされます。

- ① 社会保障関係の手続き
- ② 税務関係の手続き
- ③ 防災対策

◇ うきは市税条例の一部改正

地方税法の改正により、納税

者の申請で、原則1年以内に限り、税徴収を猶予し、また、税滞納者の財産換価を猶予できる制度が設けられました。その要件は

- ① 災害・盗難・傷病
- ② 事業の廃止・休止・著しい損失

などで、事業継続又は生活維持が困難と認められる場合です。

◇ うきは市「と畜場」の廃止条例

今年8月の火災により業務機能を喪失しました。

市と食肉組合は、馬刺の需要が増加する実情を踏まえ、再建に向け鋭意検討しましたが、組合員の高齢化等により断念を余儀なくされたため、条例を廃止したものです。

補正予算（一般会計）

歳入 歳出 1億9849万円
 予算総額 154億4042万円

【主な歳入】

◇市民税	8732万円	(増)
◇基金繰入金	1億1295万円	(増)
◇市債（借金）	3180万円	(増)
◇国庫補助金	△1370万円	(減)
◇県補助金	△7160万円	(減)
◇不動産売却収入	2637万円	(増)

(道の駐車場拡張用地を国土交通省に売却するものなど)

【主な歳出】

◇農林水産費	△6740万円	(減)
(事業未確定による返還)		
◇災害復旧費	8000万円	(増)
(台風15号被害復旧)		
◇産業立地交付金	1億円	(新規)
(三春工業団地「ROKI」に交付)		

※特別会計補正予算は、軽易な補正のため省略します。

論点

区長委嘱廃止条例（1年延長）

平成27年度末をもって「廃止」する方向としていた「区長委嘱制度」は、今議会中において「さらに1年延長」とする追加議案が提出されました。

昨年3月議会において、所管である総務産業常任委員会では、平成27年度末をもって区長委嘱制度を廃止する方向で自治協議会の早期自立を図るための報酬減額を認めた経緯から、「早期廃止の方向と違うのではないか」、また「延長するに至った経過報告もなく、結果だけでは審議できない」との反論が続出しました。しかし、区長協議会と自治協議会の一部から強い要請があり、切羽詰まった判断であったことの説明により、延長一年間を十分な準備期間とするほか、今後議会との信頼関係をより緊密にすることを条件にこれを受け入れ、区長委嘱を「平成29年4月1日をもって廃止」する条例を議決しました。

第2次総合計画

うきは市は合併から10年、新年度から「第2次うきは市総合計画基本構想」がスタートします。

計画策定は、平成26年度から着手し、市民アンケートや市民との意見交換会「まちづくりカフェ」などを開催し、その意見等を踏まえ、学識経験者と各団体から選任された審議会委員の答申に基づき、内部では副市長を委員長とした「計画策定委員会」によって、計画案が策定され、議会に提出しました。

【議会での主な論点】

- ① 10年後を描いた「基本目標」の現実性が問われた。
- ② うきは農業を「基幹産業・フルーツ王国」と誇張するも、計画が現実に伴っていない。
- ③ まちづくりの基本は「都市計画」にあるが、優先かつ重要な取り組みが計画にあがっていない。

以上の論点を踏まえ、農業振興（農地集積・団地化）、都市計画の導入等が盛り込まれ、全会一致で可決しました。

請願・意見書・陳情

- ① 請願（中野議員紹介）
 TPP（環太平洋連携協定）に関する請願（JAにじ・農政連提出）

【内容】

- ▽すべての情報公開
 - ▽国会での十分な審議
 - ▽農業経営の持続がかなう長期的な農業政策の確立
- ◇意見書ともに全会一致で採択

- ② 議員（大越議員・岩淵議員）による意見書提出（3件）

- 【辺野古米軍基地建設中止】
 - 【労基法改定案の撤回】
 - 【安保関連法の廃止】
- 【採決結果】

◇いずれも反対多数で否決

- ③ 吉井コミュニティセンター建設に関する陳情（継続審査）
- 【採決結果】 不採択

建設要望用地は、国庫補助事業用地であり、補助金返還が求められる可能性があるとする理由です。

「覚書」に関わった二人の証言 市長の見解は根底から覆る！



江藤 芳光 議員

水の貸し借りは成立しない(市長)

江藤 福岡に水を貸したのは、県が浮羽郡3町の将来を考えた政治的判断。「福岡は水不足から、水の貸し借りは違法と承知の上で、ダム負担金は福岡が肩代わりし、水を返す時点で清算する」とした「覚書」とおり、「浮羽郡3町は、大山ダムや小石原川ダムに水源を求める必要はなく、福岡は水を返すのが約束だ」と二人は証言しているが。

市長 根本的に食い違っています。川の水は国民全体のものであり、もともと利水権はなく、貸し借りの前提が成立していません。

江藤 福岡との今後の交渉を優位に進めるためにも証言事実を確認して、政治は政治で決着すべきではないか。

市長 私も政治家として、私自身がこの目と耳でしっかり検証し、答弁させていただいております。

●●農業振興「団地化を急げ！」

江藤 圃場は稗(ひえ)が広がり、



規模拡大・団地化が急がれる圃場
(浮羽町沖出地区「大豆団地」平成27年10月)

個人農業の崩壊が始まっている。市長が「基幹産業・フルーツ王国」とするうきは農業の振興を図るためには、市が中心となつて農地を集積し、団地化を進めない限り生き残れないのではないか。

市長 課題は、農地の集積、団地化にあります。付加価値農業の6次産業、都会を呼び込んだ農業振興、そして生きがい農業(健康農業)の3つを同時に進めたいと考えています。

電気料金節減の総合的な 取り組みで歳出削減を



諫山 茂樹 議員

節電やLED化等で進めたい(市長)

諫山 省エネ活動は国民的課題であり、経費節減に効果があるので取り組み状況と成果、市民への啓発、学校教育の取り組みは。

市長 空調温度管理や事務機の電源管理等地道な節電対策を管理職会で徹底し、広報等でも市民啓発に努め協力を願っています。

諫山 耐久性約3倍消費電力約半分のLED照明に計画的に取り換えて経費節減すべきでは。

市長 確かに省エネ効果大につき段階的に取り組んでいきます。

諫山 大都市では6割以上が数年前から新電力事業者より電力を購入し経費節減している。当市でも約1千万円のダウンが見込めるので即取り組みを。

総務課長 新電力事業者との契約に向けて検討していきます。

●●教育施策について

諫山 論理的思考は国際社会等に重要で国語力強化や情操教育、

情緒力を育む施策を希望する。

教育長 市では国語力向上を研究取り組み中で国語力充実の必要性については同じ思いです。で教育振興計画でも示していきます。

諫山 心身の鍛錬による耐える能力の醸成は課題と考え施策の実践と新聞活用教育を求める。

教育長 困難克服体験実践を生かし新聞教育も積極化します。

●●袋野隧道通路補修について

諫山 隧道探検通路上部が崩壊寸前で危険につき補修を求める。

市長 貴重な農業遺産のため専門家に依頼し対応します。



市役所6000ボルト変電設備

自治組織の営業モデル育成を



高山 敏枝 議員

早速、協議・指導していきます(市長)

高山 小塩自治組織を通じて貸した旧保育園舎について質問があったがどう対応したか。

市長 公共の用として無料で貸し出したが、個人店名での営業だったので、指摘もあり、注意と指導を行いました。

高山 借主は借る際に計画書を提出したので、色々できると誤解し、許可した自治組織は活用の範囲に苦慮している。早急に協議すべきではないか。

市民協働推進課長 協議の場合は設定していきます。

高山 リーダーがいて住民を巻き込んだ営業や居場所、楽しめる場がコミュニティだというモデル育成としての取組をお願いする。

●●公共施設の改修は
合併特例債で

高山 市の殆どの施設で老朽化が見られるがどう対処するか。

市長 生涯学習センターなど改修、修繕が急務なので、総合管理計画で検討を考えます。



あっちもこっちも修繕、修繕

乱の無いようにやっていきます。

総務課長 情報を収集して、混

高山 七月国政選挙の月は市長

●●十八歳選挙対策を考えるべき

市長 早急にと承知しています。

高山 施設は市民利用が多いので、市民への周知が重要だが、何時から説明、理解を求めめるのか。

市長 早急にと承知しています。

企画財政課長 間に合うように市長の意向を聞き進めます。

高山 合併特例債が五年延長になつたが、その計画は特例債を活用できる期間内に終わるのか。

保育所に入所した子が親の出産で退所しなければならぬのか



熊懐 和明 議員

家庭で保育を受ける事が困難な場合には
対応していただきます(市長)

熊懐 子ども達が保育所へ行けない淋しさを、感じなくていい施策を考えたらどうか。

市長 うきは市の子育て環境をどう整備して行くのかが、我々に課せられた責務だと思っています。

熊懐 インクルーシブ教育システムの意味をどう思うか。

教育長 基本は、障害の有無にかかわらず、共生社会を営んで行くことと理解します。

熊懐 平成28年4月1日に障害者差別解消法が施行されるが、今後の考えを伺う。

教育長 障がいのある子どもに対する支援を、国や地方公共団体等に義務付け、市立学校や民間施設などに努力義務として課せられるようになります。

●●竹林の活性化について

熊懐 竹林の利用や活かし方の現状を伺う。

市長 荒廃する竹林材を森林組

対応していただきます(市長)

合で計画中のストックヤードに集積して、バイオマスエネルギーとして活用できないか調査を行っています。

●●農産物の交流について

熊懐 うきは市では、近隣の市町村と農産物・果物の取引交流を行う考えはないか。

市長 9ヶ所の「道の駅」にフルーツ等の特産品を送っています。「道の駅うきは」には6ヶ所から物産が届けられ販売しています。



障がいのある子どもでも安心して入所できる保育所を!

行政区加入促進条例の 検討をぜひ

検討をぜひ



大越 秀男 議員

パンフレットなど、前向きに検討したい(市長)

大越 6月議会では、「地域での働きかけ、お誘いを可能な限りお願いする」と答弁されていたが、それで効果は上がるのか。

市長 法的強制力がありませんので、結果的にお願いするにどうまっています。

大越 条例が駄目なら、パンフレットでも作ったらどうか。

市長 パンフレット等をつくって、市民と行政が一体となるアピールをする指摘については、前向きに検討します。

●● 耳納クリンステーションの 操業延長はどうなったか

大越 15年延長にまだ同意を得られていない関係区があると思うがどうか。

市長 15年延長を認めている区と、5年の延長の区があり一本化できていません。

大越 15年を認める条件として1000万円要求の話が出ていると聞かれていますか。

市長 行政責任者として、信念を

もって全ての区に同一条件で理解を得るべく努力します。

●● 上水道アンケートについて

大越 水資源対策室からの「お返事」はたとえ話が不適切で、撤回か訂正をすべきと思うが。

市長 市民に分かりやすい説明を行ったので、撤回する気はありません。

大越 本質の「覚書」には触れず隠したまま、子供が駄々をこねているような書き方では市民はそう思うてしまうのでは。

市長 意図して隠しているという指摘は当たらないと思います。



豊かな湧水・地下水利用も

飢饉を救った五庄屋に比べ 市長は財政破綻の事業推進!



三園 三次郎 議員

経営的な対応策は、委員会で示したい(市長)

三園 五人の庄屋は、飢饉で苦しむ農民を救済するため、大石堰をつくり筑後川から水を引いて筑後平野を美田にし、その恩恵で水の神様として、長野神社に祀られています。市長が進める財政が破綻するような上水道の悪徳事業には、私も参加出来ません。

市長 特別委員会で再三にわたる説明をして来たが、今議会でこのような指摘を受けることは、非常に残念に思っています。経営的な視点での対応策については、次期特別委員会で考え方を示したいと思っています。

●● 上水道の必要性を認め 町長・議長の陳情書提出

三園 広報うきはには、「うきは市は当時、合所ダム建設に当たり、上水道の必要性を認めていなかった。」と、先人の努力を無にする記事にしているが、陳情書に、浮羽郡三町は将来を合所ダムで飲料水の確保と、水道水の必要

性を認めていたからこそ、町長と議長連署の陳情書を提出したもので、事実を歪曲した誤った報道記事は許せない行為です。

市長 議員から、陳情書を始め細かな資料をいただいたが、合所ダムの共有持ち分の利水権のためのお金を負担していないと申し上げてきたもので、基本的にはご理解いただいていると思っています。



農民を救済した五庄屋を祀る長野水神社

筑後川堤防を拡幅せよ



櫛川 正男 議員

拡幅工事の予定はない(市長)

櫛川 茨城県常総市の鬼怒川堤防決壊を教訓に、筑後川堤防を拡幅していただきたい。

市長 筑後川拡幅のもう一つの視点から、道路管理者うきは市として、筑後川未来空間形成推進期成会を中心に、堤防の2車線化等について毎年要望活動をしています。

●● 社会教育施設について

櫛川 旧東校跡地の活用計画はあるのか。

市長 浮羽東校跡地活用検討委員会を設置し、様々検討した結果、企業立地の候補地とすることが最も有効な活用方法であると判断し、企業誘致に向けた活動を行っています。

●● 自動車学校について

櫛川 免許が短期で取得できる合宿教習を始めは。

市長 合宿教習については、福岡県内の自動車学校間で、教習生確保が激化することを想定してお

り、合宿教習は自粛しています。

●● 婚活について

櫛川 婚活を応援する対策はどのように取り組まれているのか、今後の対応策はあるのか。

市長 少子化が進行する中で人口確保を図るためにも、結婚適齢期のカップルを誕生させる機会をつくることは重要です。

今後とも久留米広域圏事務組合の事業を中心に、婚活情報を多く市民の方々にお伝えし、婚活に対する意識を高めていきます。



筑後川に沿う堤防道路

介護保険料引き上げへの所見は



岩淵 和明 議員

費用負担の公平化、低所得者の軽減の拡充のため16段階に細分化しました(市長)

岩淵 近隣市町村と比べ同一所得では高い負担になっているが。

市長 うきは市は広域連合に属しており、できるだけ被保険者の皆さんの所得状況に配慮した細かな保険料としたことをご理解いただきたいと思えます。

岩淵 介護報酬の引き下げによる経営リスクの見直しは。

市長 介護報酬の改定により、事業所によっては収入減となっている所もあることは承知しています。今度、総合事業への移行により単価は下がることで経営上のリスクが生じないよう準備を進めております。

岩淵 介護予防「訪問・通所」の地域支援事業の準備状況は。

市長 予防給付の現行介護事業所が担う「訪問型A」と「通所型A」は28年度から、住民主体が担う「訪問型B」は28年度以降実施体制を検討していきます。「通所型B」は体制整備し、福

岡県のモデル事業として27年から28年度実施を予定しています。

●● 就学援助の拡大について

岩淵 就学援助に3会費(P・T・A・生徒会・クラブ活動)を含めることはできないか。

教育長 経済的な理由により就学困難な児童・生徒の保護者に対し、必要な援助を与え、義務教育の円滑な実施を目的としているが、3会費は近隣市町村の実態を調査して今後検討していきたいと考えております。



うきは市総合教育会議について



佐藤 湛陽 議員

市の教育大綱の策定と特色ある

教育がテーマです(市長)

佐藤 うきは市の特色ある教育とは。

市長 キーワードは、「学力向上をどのように図るか」「社会を生き抜く力をどのように養うか」また「家庭・地域の教育力をどのように向上させるか」が大きなポイントです。

●●うきは駅の観光協会受託について

佐藤 業務内容のメリット・デメリットは。

市長 メリットは、切符販売手数料5%が観光協会の自主財源となります。デメリットではないが、現在うきは駅を十分に観光と連携した形で活かしきれいでいません。そこで、うきははブランド推進隊のうきは駅活用プランナーが、観光プロモーションの目的で各地を回っており、今後どのように活用していくのいいかを視野に入れ活動を行っています。

佐藤 ななつ星によるPR効果は。

市長 マスメディア等で何度も取り上げられるとともに、「ななつ星セレクション」というネット販売で、フルーツ王国うきはの名前をPRする大きな効果が出ています。

●●旧老人センターちかぜについて

佐藤 民間活力の中での再利用、再活用を考えたことだったが。

市長 地域の活性化につながるよう有効活用を十分検討しています。



ななつ星とうきは駅看板

TPPに対して市長の所見は



中野 義信 議員

市として、TPP反対の考えであります(市長)

中野 TPP(環太平洋連携協定)の大筋合意から2カ月余り、

企業のビジネスチャンスが広がるという一方で、日本農業にとって厳しい内容となっているがどう思うか。

市長 基幹産業が農業である市にとつては、TPPが地方創生の逆風とならないよう、地方経済や地域農業に与える影響について十分検討を行い、対応を図っていく必要があると思います。

●●市立小・中学校のエアコン設置について

中野 温度測定の結果はどうなつたか。

教育長 本年6月15日から9月15日までに31度以上が「各小学校毎に報告があり、2日〜5日」吉井中が15日、浮羽中で6日という結果が出ています。

中野 今年は、特に冷夏長雨でしたが、昨年は吉井中学校4階で30度を越えた日が、34日間調

査して32日間あったということである。

吉井中学校の場合、空調設備を前提とした建物であると思うが、施設整備の責任者としてどう考えるか。

市長 国の補助金を活用しながら、是非、将来を担う子供たちが学力向上に資するような、勉強にいそしむための環境整備というのは、しっかりと視野に入れて検討していきたいと考えています。



北側にロッカー、トイレがあり風通しが悪い吉井中学校舎内

建設業法上工種別許可による 入札施行に至る審査規則は



鏈水 英一 議員

参加選定委員会規定に基づき

審査を行っています(市長)

鏈水 入札参加資格審査提出後、希望順位や業者選定、どのような照合により実施されているのか。また、年度途中で希望業種・順位の変更を認めているか。

市長 市競争入札等参加者の格付け及び選定要綱により、登録事業者から、定められた最低数以上の指名となっています。

指名は第一希望の事業者を優先に行っていますが、登録事業者数が足りない場合第二希望事業者まで含め実施しています。

企画財政課長 変更は認めていません。2月時点で提出していたが、4月1日現在時点での審査で統一を行っています。

鏈水 多くの事業者へ広く受注機会を与えると言いつながら、同日入札で、2物件以上の同事業者落札は問題ではないか。

市長 郵便入札による条件等の審査につき、適正に行った競争入札の結果として、評価しています。自治体によっては、同時受注に対

し規制する動きがあり、今後、発注者の心がけとして、受注機会の確保並びに公平性の観点で、整理を検討していきます。

鏈水 労働者が安心して働ける社会保険(健康保険・厚生年金保険・雇用保険)、入札参加要件に加入を義務づける方針は。

市長 ガイドラインが策定され、県が国の方針に従い、平成28年より社会保険等加入が入札条件に付される予定です。多くの市町村が、県の動向を注視し、対応方法を検討している状況であり、本市も、今後さまざまな情報を収集し、適切な対応を図ってまいります。



子育てと介護の、ダブルケアの コーディネーターは



上野 恭子 議員

ダブルケア問題の支援は一層重要になります(市長)

上野 団塊世代の高齢化も進みダブルケア相談員やサポーター育成は重要で、子育てと介護同じ窓口相談のスムーズな対応は。

市長 今後全国レベルで社会問題化し、相談員やサポーター養成も重要な支援体制と考えます。国や関係団体を注視し各窓口連携を高めた体制を整えます。

●● **道の駅、耳納の里を拠点とした活性化について**

上野 道の駅、耳納の里の広い駐車場を拠点とし特産品紹介や自然を満喫するウォーキング「仮称」「レインボーコース」を設け活性化に繋げてはどうか。

市長 拠点施設である事は十分認識しており、当該施設を中心としたイベントの企画検討もし、うきはウォーキング等にて両店を活性化に活用してまいります。

上野 小塩鮎婦りの滝をキャンプ場活性化に繋げてはどうか。

市長 現時点で安全性確保ができないが、小塩自治協議会等と十分連携し検討してまいります。

●● **社会人の引きこもりや不登校対策について**

上野 引きこもりの人数把握と対策は、また少し広い居場所や女性指導員の増員はできないか。

市長 民生、児童委員の方へアソシエイトを実施し、事態把握を致しフリースペースについては利用者、社協と連携し使い勝手のよい対応を図り、女性指導員の配置も検討していきます。

●● **中学生向けボランティア塾について**

上野 格差にワンクッション加え、ボランティア塾の考えは。

教育長 新指導で応援します。



早期対策が求められるダブルケア(子育てと介護)

総務産業常任委員会

◇下水道接続推進に

関する調査

7月の調査で主な議題となった温泉旅館ほか「大口事業所」の接続を推進する料金等の設定について、10月26日・27日の2日間、近隣県2市の状況調査を行いました。

【佐賀県唐津市

49、876世帯】

平成18年に8市町村合併

◇湾に面した市街地―公共下水道

◇平地集落―農漁業集落排水事業

◇有人離島―漁業集落排水事業

36ヶ所の処理区、32の処理場施設を有し、市全域が都市計画区域に指定されていることから、接続率は89・4%（うきは市67・3%）と高く、調査目的である温泉等の汚水処理料金は、1㎡あたり38円に設定されています。

【熊本県菊池市

18、420世帯】

平成17年に4市町村合併

◇合併前の市街地―公共下水道

◇合併前の町・村―特定環境保全公共下水道・農業集落排水事業等

8つの処理区・処理場があり、特に、市民が菊池川の汚染を防止する意識が高く、都市計画の指定もあり、接続率は92・3%（うきは市67・3%）と高いといえます。また、温泉等の汚水処理料金は1㎡あたり45・3円に設定されています。

【主な質疑等】

①経営状況

唐津市 整備の途中であり、公債費が多い。一般会計から繰り入れ（経営改善に努めている）。

菊池市 管渠工事は一部を除きほぼ終了。一般会計から繰り入れ（財政状況は厳しい）。

②料金設定

唐津市 定義はなく、井戸水使

用者のみ別途算定。一般家庭と事業所の区別はなく、公衆浴場汚水のみ別単価設定。

菊池市 上水道メーター水量に応じて賦課。温泉水は固定認定し、上水道量水器の使用水量に加算。

【所見】

両市とも都市計画が設定され、接続はスムーズに行われています。また、水道及び井戸水利用を考慮し、温泉旅館・他の業種についても細かく料金設定がなされており、今後、うきは市の戦略的接続推進に参考となる研修でした。



佐賀県唐津市における視察状況

◇うきは市の道路・橋りょう及び景観等に関する調査

11月26日、道路及び橋りょうの長寿命化計画の推進状況、道路・河川の景観維持、雑草対策など現地調査を含め、住環境建設課との確認調査を行いました。

【道路対策】

路面性状調査の結果、早期に修繕を要する区間

浮羽町36路線74・39km中

7区間 2・14km

吉井町49路線54・94km中

7区間 1・94km

【橋りょう対策】

うきは市管理 612橋中

長寿命化修繕計画対象 69橋

（平成27年10月現在点検結果）

健全な橋 24橋

緊急に措置を要する橋 なし

早期に措置を要する橋 9橋

長期的に管理 59橋

【景観対策】

対策に要する費用のほか、少子高齢化・人口減少等の課題が多い中で、景観保全事業として自治協議会への委託や、道路河川愛護を、雑草の最盛期である夏季に変更するなど、執行部に検討を要請しました。

厚生文教常任委員会

① 国保財政健全化の

取り組みについて

(平成27年10月5日)

うきは市の国民健康保険特別会計(国保会計)は、平成25年度約7千万円・平成26年度2千万円を一般会計から繰り入れ、赤字を補っています。

今回は、財政健全化(単独黒字)を図る方策について、広島県呉市の調査を行いました。

呉市の高齢化率は約32%(うきは市は約30%)で、医療費増大の大きな要因となっていますが、平成21年度以降は黒字を計上しています。

呉市は生活習慣病予防を柱とした保険事業を実施し、平成20年度からレセプト(診療報酬請求明細書)データベース化により、「ジェネリック医薬品への切り替え促進」「多重受診者への訪問指導」などの取り組みを行っています。

ジェネリックへの切り替えは、医師会や薬剤師会の協力は、



倉敷市での調査

と、市民への事前説明会などの実施により、平成26年3月時では切り替え率は82%となり、大きな効果を発揮しています。平成25年度だけでも1・4億円削減とのこと。更に、重複受診や頻回受診者への受診指導と、糖尿病などでは、透析に至る前に専門看護師による面接や電話指導を行い、主治医に報告し治療に役立てています。

市民一人ひとりが健康に対する意識の向上と共に、医療費の適正化につながり、意義のある調査となりました。

② 介護支援ポイント制

について

(平成27年10月6日)

高齢者自身の健康増進と、積極的に地域に貢献することで、いきいきしたまちづくりを実現することを目的に、高齢者によるボランティア介護支援(ポイント制)が行われている、岡山県倉敷市についての調査をしました。

平成22年10月から開始し、現在のボランティア登録者数は、603人とのこと。65歳以上の介護認定を受けていない方が対象で、地元の通所介護施設で、話し相手・レクリエーション・外出補助・などを行い、1時間100ポイント(100円換算)をもらい、年度末に換金できる仕組み(年間5000ポイント上限)です。

事業開始以来、順調にボランティア数が増加していますが、獲得ポイント数より換金者は少なく、市民の純粋なボランティア協力が大きいとのことでした。

うきは市においても、平成28

年4月から、介護予防・日常生活支援総合事業が開始されます。地域支えあい体制作りに大いに参考となるものでした。

③ 市内の社会教育関連

施設調査

(平成27年11月11日)

合併当時のまま施設利用がされ、老朽化による問題を抱えた多くの施設を調査しました。

歴史資料館やホールは、統廃合の方針を早めに示し、大春トリムセンターの武道場は老朽化が激しく安全面からも廃止の方向を示すべきではないかと思えます。更に生涯学習センターは、老朽化と、利用環境設備(トイレ・空調の故障)と面積不足で早急な建て替えが必要な状態だが、多額の費用がかかることもあり、合併特例債が使える期限内に早急な改修計画を示すべきであると考えます。

廃止や統廃合は、施設を定期的に使用している人や団体・地域の意見を聞いたうえで、着実に進めるよう執行部に検討を要請します。

うきはの宝シリーズ

第6回「グッドロケーション」

市内には、日ごろ見慣れているため気づかない素晴らしい風景が数多くあります。あなたの身近なところにももっとあるのではないのでしょうか。



浮羽町小坂にある浮羽稲荷神社石段に建てられた100以上の鳥居。歩いて上るのは大変ですが、一見の価値あり。



重要伝統的建造物群の中の一つ、居蔵の館周辺の景観。電線地中化ですっきり。明治・大正時代にタイムスリップしたかのよう。



日本棚田百選の一つ、新川つづら地区の「棚田」で日本の原風景に例えられる。守る苦労は大変ですが、私たちが癒してくれる風景。



蠶の原料となる樫だが、時代を経て今や観光資源。シーズンには多くの観光客が訪れる。吉井町延寿寺谷沿い。

3月定例議会

3月定例議会は

3月3日(木)

開会予定です。

傍聴はどなたでもできますので、どうぞご来場下さい。

委員長
副委員長
委員

江藤 芳光
大越 秀男
佐藤 湛陽
中野 義信
中野 英一
岩淵 和明

広報広聴委員会

議長
岩佐 達郎

発行責任者

けなのか…？

平成27年を象徴する漢字は「安」ということ。
さて皆さんは安心だったのか、不安だったのか、はたまた安く低い収入に泣かされたのか。
さて、今年一年はどのような年にお金(紙)と、お金を動かすことで儲かり、経済が活性化する仕組みは正常ではないと感じつつも、働くことでしか収入を得ることができない庶民にとっては政治が頼りなのだが、その政治も弱気をくじき強気を助けているようにしか感じないのは私だけなのか…？

編集後記



議会事務局

TEL 75-4990
FAX 75-3342

H.O